

ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
はまゆう仕上げ
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社
第二R&Dセンター
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジョリパット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ-200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約 8㎡/缶

- ・ 灯油

<主な施工道具>

- ・ マスチックローラー※ (ジョリパットローラーJR-20:9インチ) 又は、ステンレスゴテ
 - ・ はまゆうローラー (ジョリパットローラーJR-61:7インチ)
 - ・ ヘッドカットローラー (平面用:ジョリパットローラー JR-26)
(隅 用:ジョリパットローラー JR-27)
- ※マスチックは全国マスチック事業共同組合連合会、株式会社マルテ大塚の登録商標です。
- ・ リシンガン (口径 4~6mm) ※※
 - ・ コンプレッサー (2.2kW (3馬力) 以上:1台使用の場合) ※※
- ※※下塗りを吹付けで施工する場合。

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

<はまゆう仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	J S - 5 0 0	1 8 k g
	清 水	1 8 ㍓
塗 布 量	0 . 0 7 k g / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	J Q - 2 0 0 シ-ズ [*]	2 0 k g
	清 水	1 . 5 ~ 2 ㍓
塗 布 量	0 . 6 k g / m ²	
吹 圧 力	5 ~ 7 k g f / c m ²	
使用ガン	リシガン口径φ4~6mm	
	※左官業者の場合は、ジョリパット不燃を無希釈で0.6kg/m ² となるようステンレスゴテで平滑に塗布する。(下ごすり)	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

<塗装業者の場合>	
・ ジョリパット不燃を無希釈で1.7kg/m ² となるよう、マッシュローラーを上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りを行う。(ムラ切り)	
<左官業者の場合>	
・ ジョリパット不燃を無希釈で1.7kg/m ² となるよう、ステンレスゴテで均一に配り塗りを行う。	

追かけ塗り(5分以内)

4. パターン付け

・ あらかじめ水に浸して絞り湿らせたはまゆうローラー(中毛ウールローラー)JR-61にジョリパット不燃を含ませる。次に配り塗りしたジョリパット不燃が乾燥しないうちに、JR-61ローラーで弧を描く様にランダムにパターン付けをする。(図-1)

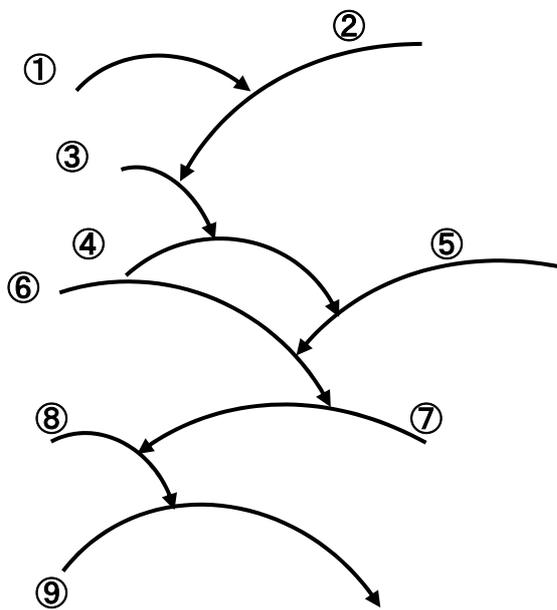
追かけ塗り(5分以内)

5. ヘッドカット (押さえ)

・ヘッドカットローラーJR-26 (平面用) や JR-27 (入隅用) を灯油に充分浸してから、ジョリパット不燃の塗膜表面をカットローラーが転がるよう軽く押さえる。

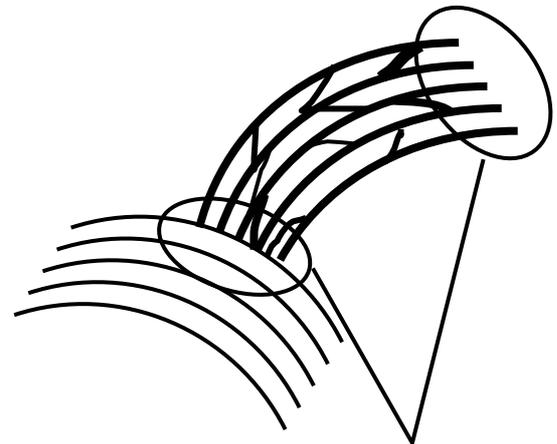
24時間以上放置して乾燥させる。

<施工のポイント>



ローラーの動きの一例

・パターンの端が重なるように施工して下さい。



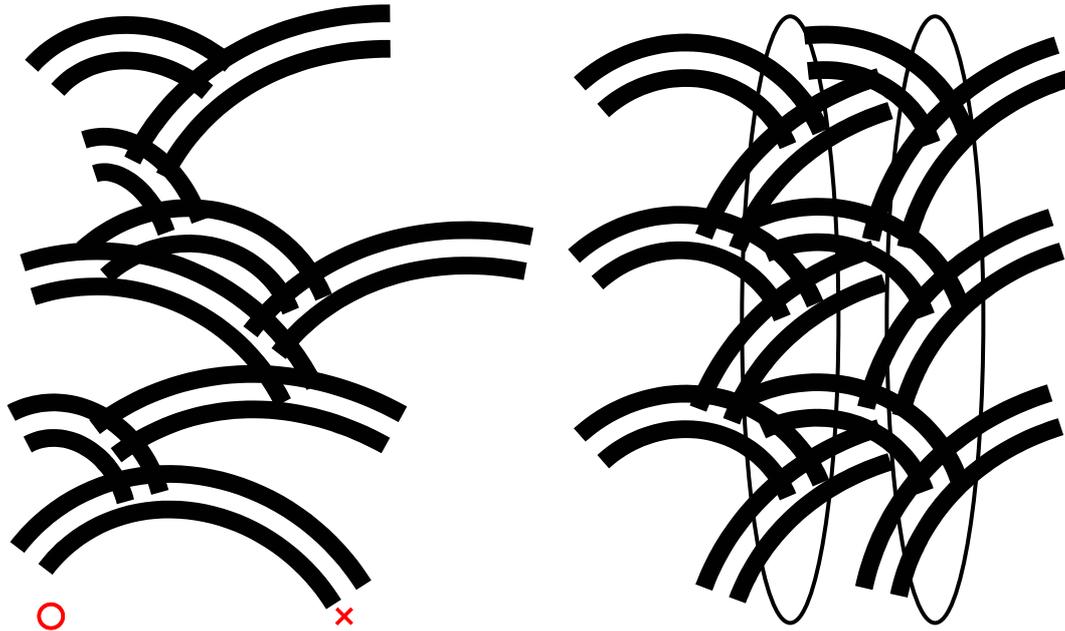
この部分のパタ

重なるようにパターン付けを行う。

図-1

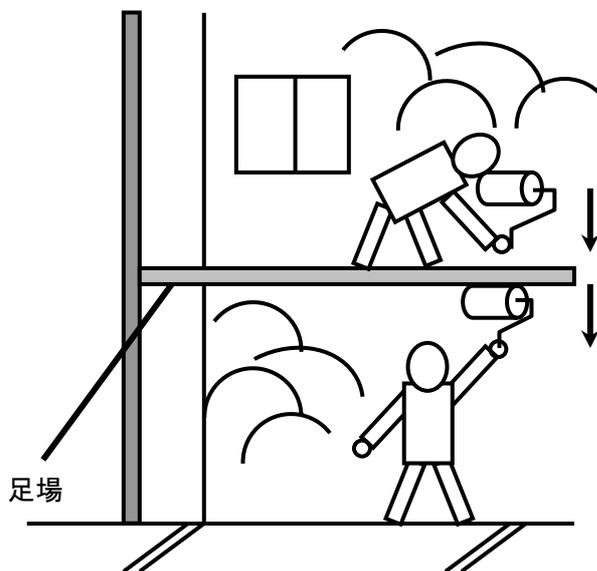
- ・ はまゆうローラーがあまり回転しないようにして線を出す。ローラーを引きずるような感覚でパターンを付ける。
- ・ はまゆうのパターン付けは、大きい弓状模様と小さい弓状模様がたくさん重なりあうように組み合わせる。
- ・ はまゆうローラーは常に上から下方向に転がし、弓状模様をランダムに付ける。(矢印の動き)

- ・パターンが規則正しくならないよう注意する。



パターンの谷が揃わない
よう注意する。

図-2

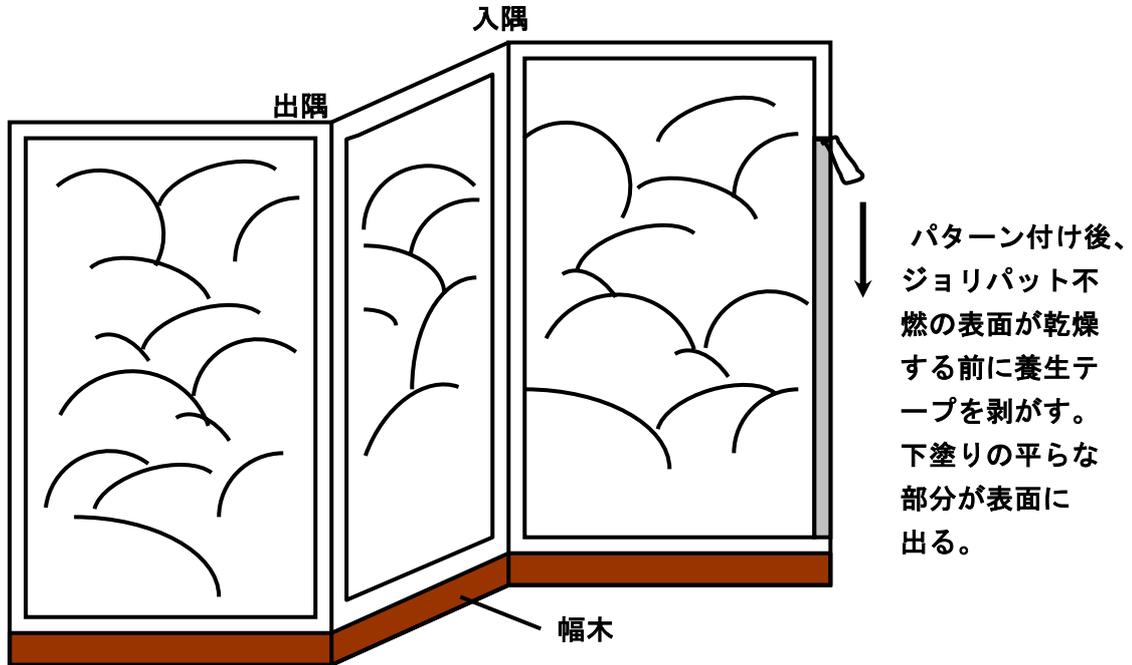


足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、足場の上と下で時間をあけないよう2~3人で組んで施工して下さい。ジョリパット不燃の表面が乾燥して皮がはる前にパターンをつないで下さい。(皮ばり後にパターン付つなぎを行うと、汚くなり継ぎが目立ちます。)

図-3

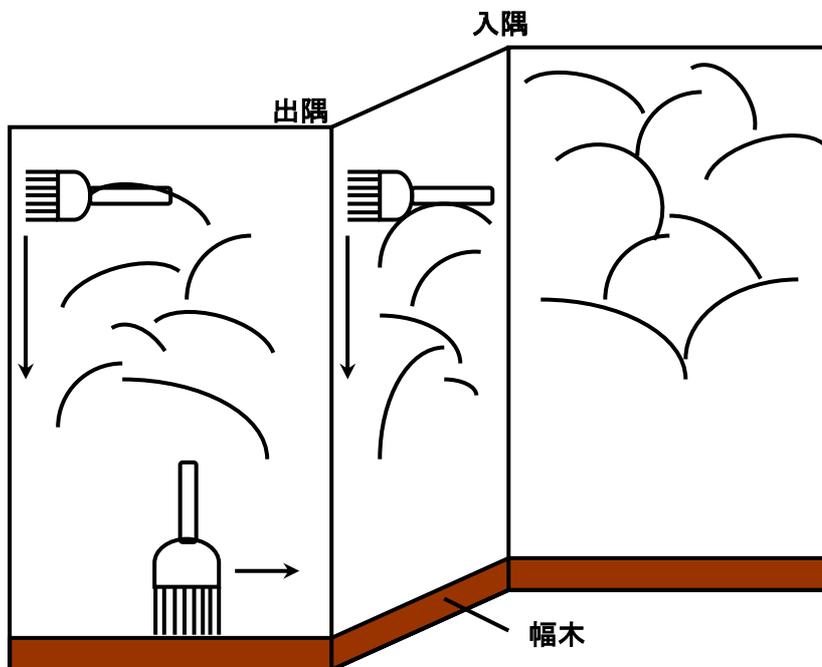
○入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるかジョリパット不燃が乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図—4）



化粧目地をとる工法

ジョリパット不燃を下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。



刷毛で押さえる工法

図—4

<施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 配り塗りは、均一に塗布する。塗布量が少ないとパターンが出ない為、注意する。
- ・ はまゆうローラーJR-61（パターンローラー）にもジョリパット不燃を充分含ませる。
- ・ ヘッドカットローラーは、力を入れず上から下へ軽く転がす。（強く押さえると模様が潰れてしまいます。又、下から上へカットローラーを転がすと模様が逆立ってしまいます。）
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。（特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。）
- ・ **このパターンは作業により仕上がりにバラツキの出やすいパターンです。塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。**

以 上

※ 塗板見本は、すべてコテ配りで作成しています。施工現場においてローラーで配る場合は、塗板見本と仕上がりが若干異なりますので注意して下さい。